

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

平成22年
9月25日
発行
第210号

発行所
日本赤十字新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区浜松町2-6-8伸和ビル1F
TEL (03) 3433-3028
FAX (03) 3432-4560
Eメール shinro@shinro.org
ホームページ http://www.shinro.org/
発行責任者 渡辺 智恵



平成22年度

第二回中央委員会開催

ベア、年末手当等を審議

九月十一日、十二日の両日、日本海を望む新潟市の「チサンホテル＆コンファレンスセンター新潟」において、平成二十二年度第二回中央委員会が開催された。会議には全国加盟単より中央委員及びオブザーバー等七名の参加のもと、議題の平成二十二年度ベアや年末手当等について慎重な審議が行われた。また、十二日には幹部研修会が開催され、日赤厚生年金基金をテーマとした講演が行われた。

第二回中央委員会は、開月の新任役員研修会に引き継ぎのこぼれ、資格審査 続き日赤厚生年金基金がテ・成立確認が行われ、議長 一ツで、社会・経済情勢がに川原猛氏(盛岡日赤)、及び資金運用の厳しさを副議長に薄井啓一郎氏(大 高齢化に伴う支出の増加等田原日赤)、書記に柏裕輔 から厳しい現実を直面して氏、二日目は柴田淳氏(三 いるところだが、これから原日赤)が選出された。 の若い世代においても良い審議に先立ち、山田中央 制度として継承していかん執行委員長が挨拶に立ち、 ければならないと考える。 次のように述べた。 『今年度の幹部研修会は、六 ては、八月十日の人事院勸告を受けて、本社も八月二 十七日に給与改定にかかる 回答をモを示し、いよいよ 本社交渉も大詰め時期と なった。今中央委員会で は年末手当も議題としてあが っているの、お集まりの 皆さまには慎重な審議を お願いしたい。』

【新潟血七と懇談会開催】

○単組新任役員研修会開催

○日赤厚生年金基金につ いて「日本赤十字社人事 部 前田 穂 氏」 「組合活動と労働法」 明治大学法学部講師・松岡 二郎氏

○初心者研修会開催 「1B」八月二十一日開催 「2B」七月二十四日開催

○幹部研修会開催 「日赤厚生年金基金につ いて」日本赤十字社人事 部 前田 穂 氏

○調査部 今年度の調査を実施 ○平成二十二年度調査事項 について調査実施

○夏期手当の調査結果報告 二、一般経過報告 資料にそって、今年度ベ

アの交渉経過を中心に本部 活動報告が行われた。今年 度給与改定に係る本社回答 の深夜手当加算額の取扱い やオンコールに対する本社 の考え、夏季休暇の取得、 血液センターの業務集約に よる配置替えの問題等につ

いて質疑が行われ、賛成多 数で承認された。

一、今年度ベアについて 各ブロック代表中央委員 の審議結果が報告され、今 年度ベアについては定昇込 み三・〇%(一万八千円)

一、各都府県 報告事項

一、各都府県 報告事項

一、各都府県 報告事項

一、各都府県 報告事項

一、各都府県 報告事項

を要求するものの、今後の 交渉については本部一任と する。ただし八月二十七日 の本社回答内容について、 俸給表の改定は十月一日実 施を繰り下げ平成二十三年 一月一日以降とすること。 それに合わせて、深夜手当 の改正も平成二十三年一月 一日とすること。また、な かなか進展のないオンコー ル料の交渉について、本社 の具体的な考え、回答を求 めることを決定した。

二、年末手当について 各ブロック会議での審議 結果が報告され、賛成多数 で次の通り決定された。

【統一要求額】 三〇割十一律五万円

【統一要求日】本部一任 本部は九月二十九日(水) を統一要求日に指定。

今年度の夏期手当において 本社支給割数にプラスαの 支給を勝ち取った施設が複 数あったことから、日赤新 労の要求している給与要綱 第三五の改正について、過 去の経緯も踏まえ、あらた

めて要求内容を精査してい くこととした。給与要綱第 三五の改正については、第 三回ブロック会議及び第三 回中央委員会において協議 することになった。

三、第五〇回大会について 第五〇回定期全国大会の 日程と役割分担等を確認し た。開催日程は平成二十三 年二月二十日〜二十一日。 開催地は三重県伊勢市。役 員選考委員会は第三回中央 委員会時に開催される。

四、その他 ①育児休業規程等の改正に ついて 制度の説明が行われ、各



(日赤新労の悲願達成を祝って、三三七拍子)

幹部研修会

「日赤厚生年金基金について」

日本赤十字社人事部 前田 穂 氏

九月十一日(土)、幹部 研修会が新潟の里、新潟で 盛大に開催されました。 近年、ご周知のとおり厚 生年金基金の財政問題等が 検討委員会が平成十九年 五月に設置されています。

そこで、今年度は本社人 事部 前田 穂 氏をお招きし、 「日赤厚生年金基金につい て」をテーマとして、日本 赤十字社における退職給付 制度検討の進捗状況につい て解説をお願いしました。 この日赤厚生年金基金に 関する研修会は、六月の単 組新任役員研修会に次いで 二度目となりますが、幅広



一平成22年度年末手当要求額一

30割+律5万円

私たちの日々の頑張りを ボーナスに反映させよ!

日赤新労

ロックの組合員から応募の あった作品に決定。記念誌 のサブタイトルは、『さ らなる躍進を誓って』と 決定した。他に表彰者や参 加者、一般組合員への記念 品、式典及び祝賀会のタイ ムスケジュールや役割分担 を決定した。

記念誌「五〇年のあゆみ」 については第三回中央委員会 で審議することになった。

単組においても組合員への 周知を図り、取得促進につ いていくこととした。

②日赤新労結成五〇周年記 念して募集した組合ロゴマ ークは、選挙の結果、五フ

九月十一日に開催された 記念事業実行委員会の報告 が行われた。五〇周年を記 念して募集した組合ロゴマ ークは、選挙の結果、五フ

「厚生年金基金等の制度の あり方検討委員会等の進捗 状況について」「厚生年金 基金の長期運営計画の作成 について」「基金加算年金 の見直し案について」と、 現段階のあり方検討会での 主な検討内容を解説してい ただきました。

国の弾力化措置も二年間 で終了予定であり、掛金引 上げ、若しくは制度変更の 実施は避けられず、組合員 の皆さんの目も真剣なもの でした。質疑応答も活発 に行われ、現在の厚生年金 基金の問題について共有意 識が高まったのではないかと 思われます。(教宣部長・永岡弘道)

悲願達成!! 日赤新労が筆頭組合に

―組合員増員活動が実を結ぶ―

ここに報告させていただきました。半世紀前、「労使協調・良識ある組合活動」を理念として新労の結成に立ち上がった諸先輩方の意志が、五十年後の今も多くの組合員に受け継がれていることは、我々の労働運動のあり方が、いつの時代であっても普遍であることの証しでしょう。

我が国の労働組合の組織率は、昨年は短時間雇用者と女性の労働組合員数の増加により、一九七五年以来三十四年ぶりに前年を上回りましたが、近年は低下傾向が続いています。日赤も決して例外ではなく、組合員数・組織率ともに減少しています。そうした中で、我々日赤新労は着実に組織の拡大を積み重ね、漸く悲願を達成することができました。

日赤新労は昭和三十六年九月に結成以来、組織の拡大と強化に総力を挙げて取り組んでまいりました。そしてこの度、ついに、同志の強固な団結が実を結び、日赤における筆頭組合となり、全国的にも減少して

あがりとうございました。共に喜びを分かち合います。 (中央書記長・渡辺智恵)



石巻市の夏祭り ●●● 「石巻川開き祭り」開催

石巻赤十字病院新労働組合

八月一日(日)・二日(月)の両日、ここ宮城県石巻市で最大の夏祭りである「石巻川開き祭り」が開催されました。宮城と言えは仙台の七夕祭りが有名ですが、今回は「石巻川開き祭り」について紹介したいと思います。

石巻市は仙台市に次ぐ宮

新潟血七職組と 懇談会を開催

―現状確認や情報交換を行う―

九月十一日(土)、第二回中央委員会の新潟開催に合わせ、新潟県赤十字血液センター職員組合と懇談会を開催しました。

血液センターにおいては、業務の集約化が進む中、人員の見直しに絡むさまざまな問題が懸念される所です。本部からは山田執行委員長をはじめ九名、新潟県赤十字血液センター職員組合からは高橋執行委員長をはじめ単組役員を中心に五名の方が参加され、以下



内容は約二時間、製剤部門が集約される点について、

については、新潟センター単組の問題だけではなく、日赤新労本部としても、本

納大縄引大会などが行われ、フィナーレは参加者市民が一体となり、港町ならではの流し踊り、大漁踊り、孫兵衛船競漕に出場し、

し合わせ二七名が一隻に乗り込み、北上川下流全長八百メートルのコースを漕ぎ、速さを競う海上レースです。一隻を二四人という大人数でオールを漕ぐため、一四名全員が息をピッタリ合わせなければレースに勝つことはもちろん、前に進むこともままなりません。舵取りやリズム・タイミングを合わせる声出しも



今年に残念ながら「大漁踊り」には参加できませんでしたが、今後も病院の地域への連携やPRはもちろんです。職員同士の絆やコミュニケーションを育むためにも、参加していきたいと思っています。

ぜひ皆さんも、一度「石巻川開き祭り」に遊びに来て、一緒に盛り上がりましょう。

(副執行委員長・大橋茂樹)

心の健康づくり

ストレスと上手につき合みましょう!

こころの健康づくりは、労働者自身がストレスに気づき、これに対処するための知識、方法を身につけ、それを実施することが重要です。「自分の健康は自分で守る」という考え方を理解し、ストレスに対処する知識、技法を身につけ、それを積極的に実施しましょう。

〈ストレスと上手につき合うポイント〉

ストレスと上手につき合うためには、自分に過剰なストレスがかかっていることに早く気づくこと、そして自分に合うストレス対処法を見つける実践することがとても大切です。

- ①リラクゼーション法を身につけよう
リラクゼーション法には呼吸法や自律訓練法など様々な方法がありますが、中でもストレッチは特別な器具や道具を用いることなく、場所や時間もとらず手軽に行えます。
- ②規則正しい生活を心がけ、睡眠を充分とる
- ③親しい人たちと交流する時間をとる
心の中にある様々な不安やイライラなど、今

の状況や気持ちを話すことで、不思議と気分がすっきりします。これは、自分の中でこだわっていた悩みを言葉にすることにより解放されたためと考えられています。ストレスが多い時、親しい人に話を聞いてもらうだけで、ずいぶん気が楽になります。また、話しをすることで気持ちが整理され、自分で解決できたり、時には良いアドバイスをもらえたりします。

④笑いのすすめ
最近、思いっきり笑ったことはありますか? 心の余裕を失うと笑いは少なくなり、無表情になりがちです。笑いによって自律神経のバランスを整えたり、がん細胞を攻撃するNK(ナチュラルキラー)細胞が活性化し、免疫力を正常化させる効果もあります。

日常生活に「笑い」をうまく取り入れて、健康で楽しい日々を送りましょう。

⑤緊張を細切れにする
1日の中で緊張が続いているなど感じたら、トイレに立って深呼吸する、軽く体操をして小休止を取るなどの気分転換を図りましょう。

⑥できるだけ落ち着いた環境を
職場で許される範囲で机や椅子、コンピューターを自分好みに調整してみよう。

また、可能であれば休憩時間に好きな音楽を聴くなど自分独自の空間をつくり、落ち着いた環境を整えましょう。

⑦仕事に関係のない趣味を持つ
仕事を離れた趣味を持つことは気分転換にな

り、ストレス解消につながります。一人でやること、また仲間とやることなどいろいろな趣味を持つことにより自分の人生に楽しみをプラスして、日々の生活を精神的に豊かにすることもつながるでしょう。

⑧自然を楽しむ機会を多く持つ
ストレスの多い職場から離れ、自然に身をゆだねることは、生活のリズムを変えるのに役立ちます。また、森の木には心身をリフレッシュさせる成分(フィトンチッド)が発散されており、ストレス解消に大変有効です。

⑨適度に運動をする
適度な運動をすることで、満足感や開放感、リフレッシュ効果が得られ、身体的、精神的ストレスを解消するのに役立ちます。

運動と言うと、勝ち負けにこだわり技術を競うというイメージを持つ人もいますが、ストレス解消のためにはあくまでも「楽しむ」という気持ちが大切です。手軽にできて自分が好きな運動を楽しめる環境で行いましょう。

⑩ストレス解消をタバコやお酒に頼らない
ストレス状態から逃れたいという気持ちからタバコやお酒に頼ってしまうと、いつしか量が増えてしまい、場合によっては依存症となって心身の健康を損ねてしまうことになりま

す。ストレス解消のためにタバコやお酒に頼ることは注意が必要です。他のストレス解消法をお勧めします。

(厚生労働省HPより)